

## 4月のアルミレポートおよび5月の見通し(下)

## 橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏



## 予測レンジ

LME	現物後場買い1500-1700ドル ● 変わらず
スクラップ	0から-5円(前月最終価格より) ● 変わらず
為替	105-110円(一か月間TTM) ☂ 円高

※平成28年5月17日付の紙面に掲載された記事の続きとなっております。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+2.5%の6万6897t。18カ月ぶりプラス出荷は+1.2%の6万69489t 26カ月ぶりプラス。

内 出荷先

鋳物 -2% ダイカスト +3.6% 板  
-6.5% 押出 +5.3% 鉄鋼-1.9%  
合金地金メーカー +1.5%

【アルミ圧延・押出品生産数】 -2.3% 4カ月ぶりマイナス 17万5063t

板類 生産、出荷ともマイナスに転ず(出荷は先月の+1.9% ⇒ ▲2.7%へマイナスに転ず)

缶材 38,129ト(0.9%)

ボトル缶の好調により、5ヶ月連続でプラス。

自動車 14,959ト(14.0%)

軽自動車を除く国内乗用車生産台数は減少に転じたが(2月の軽を除く乗用車生産台数:521千台、前年同月比:▲3.3%)、

新型プリウスの販売好調もあり二桁プラス(3) 輸出 18,496ト(▲20.7%)

海外関連工場への素条輸出の減少により、7ヶ月連続でマイナス。

押出類

生産・出荷とも2ヶ月連続でプラス(出荷は先月の+3.7% ⇒ +1.1%へプラス幅が縮小)

建設: 37,447ト(▲0.7%)

新設住宅着工戸数は増加しているが(2月の着工戸数:72,831戸、前年同月比:+7.8%)、建設全体としてはマイナスに転ず

自動車 11,982ト(3.4%)

軽自動車を除く国内乗用車生産台数は減少に転じたが、トラック架台が好調で6ヶ月連続でプラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比 -16.1%の130t。

二次合金が+88.3%の2124t

スクラップが-5.6%の8734t

アルミ缶が+94.1%の5806t

【輸入】

アルミ新地金が前年比-25.9%の9万4401t

二次合金が+11.1%の9万1394t

スクラップが-45.7%の444t

合金スクラップが-42.8%の3158t

【見通し】

・自動車は生産が+1.2%。3月の国内販売台数が前年比+7.2%

生産が4カ月連続ぶりプラス、販売が3カ月ぶりプラス。

生産、販売共にプラス 販売に至っては大幅増!

新年度入り後の動向に注目

・住宅着工の動向については、平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響からの持ち直しが見られた後、前年同月比で横ばいの傾向となっていたが、足下では3カ月連続での増加となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

・アルミ圧延・押出品生産数

主力の押出の2カ月連続のプラスに続き 板類はマイナス 輸出は減少

・アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績 自動車生産の増加を受けて増加、さらに合金メーカー向けへの出荷も増加。

住宅着工の増加を受けて 押し出し向け出荷が+5.3%

今後に期待

・輸出 内需の低迷を受けて大幅増加。特にアルミ缶が大幅増の+94%!

・輸入 内需の低迷や円高から減少。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、GW前の子スク売りから塩漬け玉はほとんどないのではないかと?

最近の生産の増加を受けて発生自体は増えてはいるが、ここ最近の輸出増を考えれば更に需給のひっ迫状態は続くであろう。

世界を結ぶ循環流通サービス  
原料から製品まで

Ogico OHGITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号  
Tel:06-6444-1521~1530  
東京支店 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地  
Tel:03-5282-4800  
名古屋支店 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号  
Tel:052-571-2005  
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾  
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

http://www.ogico.co.jp

【価格・為替予想】

今月は、原油と中国の景気対策に左右される。原油に関しては1月の増産凍結水準は原油の需要が多い夏には実質100万バレルの減産規模に値すること、国際エネルギー機関（IEA）が12日公表した5月の月報で、需給の改善を背景に年後半には世界の原油在庫が「劇的に削減される」との見通しを示したこと、山火事のあったカナダで生産が完全に回復するには時間がかかるとみられるほか、リビアやナイジェリアでの供給不安が出てくることから45-50ドルで推移するのではないかと？

中国の景気対策に関しては、中国国家発展改革委員会が4月に総額213億ドルの固定投資資産プロジェクトを承認したとの発表した。今後も相次いで発表される可能性も高いのではないかと？それらを踏まえた5月の銅価格は、原油の需給が現状程度で引き締まり45-50ドルで推移し、中国の景気対策の効果が出てきた場合、4月高値の一段高1700ドルを予測。いずれかの場合は1600ドル。

下値はいずれの条件も達成できなかった場合3月もう一段安値の1500ドル。

為替は、新規材料難の中、米経済悪化を防ぐための米利上げ観測の後退や、G20の流れを受けての介入がしにくい現状や追加的な金融緩和策が難しいことから円高が続くのではないかとそれらを踏まえ予測は

上値は日本が何らかの為替対策を結果的に一切行わず、米利上げ観測が後退した場合105円台(TTM)を予測。下値は、日本がさらなるマイナス金利策や為替介入などを行い、米利上げ観測が前進した場合、110円を予測。メーカースクラップ購入価格は0から+5円と予測している

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

# 中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒 556-0022 大阪市浪速区桜川1-6-22  
TEL 06-6561-3759代表

## 亜鉛建値は3,000円引き上げの25万6,000円、 月内建値平均は25万4,900円。

三井金属鉱業は17日、電気亜鉛建値を3,000円引き上げの25万6,000円と発表し、同日から実施した。月内建値平均は25万4,900円。

17日入電のLME亜鉛相場のセツルメントが1870.50ドル、同日発表のTTSレート109.96円で換算した採算価格は20万5,600円となり、建値と採算価格から見た諸掛かりは5万400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。（単位キロ当たり円、かっこ内は改定日）

- ・ 2015年  
12月=241(1) 235(4) 232(17) 平均234.8
- ・ 2016年  
1月=241(4) 229(7) 217(13) 220(19) 226(22)  
平均226.0  
2月=247(1) 250(4) 244(12) 238(17) 256(23)  
平均247.8

- 3月=250(1) 259(4) 247(9) 256(14) 250(17)  
262(23) 平均255.5
- 4月=253(1) 250(6) 238(11) 256(14) 262(20)  
平均254.1
- 5月=253(9) 256(17) 平均254.9

亜鉛くず 現金高価買受け  
亜鉛ドロス・滓 ご照会をう

### 再生亜鉛精錬

## 日進産業株式会社

代表取締役 星山 えり

〒 580-0006 松原市大堀1丁目7-30  
TEL 0723-31-3945代表  
FAX 0723-31-3974

## 三菱マテリアル5月後半の山行故銅買値は34万円。

三菱マテリアルは、2016年5月後半の山行故銅買値(99%ベース)を発表し、前回比1万円安の34万円となった。

これを受けて黄銅山送りは5,000円程度値下がりました。

直近6か月の買値は次の通り。

- ・ 2015年

- 12月 前半=40万円、後半=39万円  
・ 2016年
- 1月 前半=40万円、後半=34万円
- 2月 前半=39万円、後半=34万円
- 3月 前半=36万円、後半=40万円
- 4月 前半=38万円、後半=36万円
- 5月 前半=35万円、後半=34万円